

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	消防団設備事業			
予算科目	9 款 1 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 消防・防災・安全の確保			
所管課情報	担当課: 防災安全課		電話番号(内線): 982-0657	
記入者情報	所属長: 新田 亮仙		担当責任者: 水口 盛文	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	一般市民			
根拠法令等	消防組織法			
事業の目的	消防ポンプ車等の維持管理及び整備			
事業の内容	消防ポンプ車の車検、修理、自動車保険加入及び消防資器材の整備			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	夜間に災害現場で活動する消防団員の事故を防止するため、ヘッドライトを助成事業で整備する。			
改善策の 具体的 取り組み	平成24年度に見直した10箇年度整備計画に基づき事業を進めていく。消防車両等の機動性を考慮し、更新車両は四輪駆動車を購入する。また、来年度に更新する積載車1台にあつては、国からの無償貸付車両で救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車を配備し、大規模災害に対応できる体制を整備していく。			

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	23,583	23,144	5,644	21,379
	人件費	11,198	11,389	11,389	11,389
	合計	0	34,533	17,033	32,768
人件費 内訳	人工数	1.40	1.40	1.40	1.40
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	11,198	11,389	11,389	11,389
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	34,781	34,533	17,033	32,768

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
ポンプ車等の車検	台		18	3	19
ポンプ車等の修理見込み	台		18	3	19
ポンプ車等の更新	台		4	2	4
ポンプ車等の燃料	台		723	192	914

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
		22,100	40,100	20,100	23,600	

成果指標				
成果指標	10箇年整備計画による車両やポンプの更新総数に対する当該年度の累積更新数で達成度を測定する。 (実績)今年度までの累積更新台数24台/(目標)10箇年計画総台数36台			
指標設定の考え方	整備計画に対する充足率により事業の達成度を測る。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標28年度
目 標	100%	100%	100%	100%
実 績	56%	67%	78%	100%

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	<p>装備の改善充実は消防団員の強い要望であります。災害時に必要最低限の装備を配備するため、夜間の活動に必要なヘッドライトを消防団安全装備品等助成事業を活用して購入した。今後も助成事業等を活用して消防団員の安全装備品の確保に努める。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	<p>大規模・複合災害への備えと併せて災害対応時の消防団員の安全確保に向けた装備の充実を念頭に、引き続き業務を進める。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会の抽出事業により、外部評価に諮ることとする。

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・消防ポンプ車は設備で、消防団詰所は施設でと、こういう言葉づかいをしないといけないのだろうか。・一般市民を最後まで避難誘導させる消防団員のためにも、タワーを1、2か所造ってはいかがか。・消防団員から見れば、ヘッドライトやトランシーバーなど必要なものが一杯ある。事業の目的にそういうものも含めてもらいたい。・消防団事業の財産をきちっと書いて、10年かけてどうするのかという工程表を作っていたきたい。・消防団施設事業と分ける必要はない。一体化して事業全体の評価をすべきである。・目標がポンプ車の更新であれば、何年に何台、実績として何台入れたと分かるように書いた方がパーセント表示より見やすい。・自己課題認識にある国の補助金があるのであれば、最大限に活用していただきたい。・今年度の改善策に対する対応状況の日本語がよく分からない。</p>
---------------------------	---

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>現状のまま継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	